



日造協ニュース

2023.3月 通巻 第588号

発行：一般社団法人日本造園建設業協会 編集：広報活動部会 <http://www.jalc.or.jp>
 〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階 TEL:03-5684-0011 FAX:03-5684-0012

本号の主な内容

2、3面 【特集】第49回全国造園デザインコンクール

審査講評 藤井英二郎審査委員長ほか

入選作品 国土交通大臣賞 井上泰一さんほか

4面 【ふるさと自慢】日本フィギュアスケート発祥の地！
都市緑化フェア仙台会場の周辺さんぽ
宮城県支部 山本尚子(有)ミドリ企画

【緑滴】日本酒との出会い

長崎県支部 硫山智子(株)岩永造園

第49回

全国造園デザインコンクール

文部科学大臣賞 静岡県立静岡農業高等学校
国土交通大臣賞 井上 泰一さん(南九州大学)



受賞者（オンライン）と関係者で記念撮影

日造協は、第49回全国造園デザインコンクールの表彰式を2月11日、東京都千代田区二番町の東京グリーンパレスで、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場と受賞者、関係者のオンライン参加により開催した。全国造園デザインコンクールは、造園空間のデザインと設計技術の向上を図ることを目的に日造協主催、(一社) ランドスケープコンサルタント協会、全国高等学校造園教育研究協議会共催、文部科学省、国土交通省、NHK、全国農業高等学校長協会、(公社) 日本造園学会、(公財) 都市緑化機構の後援で実施している。

第49回全国造園デザインコンクール受賞者

賞 部 門	氏 名	学 年	学校名
文部科学大臣賞	静岡県立静岡農業高等学校		
国土交通大臣賞	井上 泰一	3	南九州大学
造園学会長賞	山下 純子	1	E & G アカデミー
日造協会長賞	辻 志明	3	北海道岩見沢農業高等学校
CLAA会長賞	井上達也/吳屋義典	1	大阪公立大学大学院
学校長理事長賞	実習 神林 佑飛	3	埼玉県立秩父農工科学高等学校
造園協議会長賞	街区 宮崎 朔弥	3	静岡県立科学技術高等学校
広場プラン賞	木内 幸智	2	滋賀県立湖南農業高等学校
入選 住宅	久保 真人	3	山口県立宇部西高等学校
入選 住宅	脇 本 大	3	山口県立宇部西高等学校
入選 住宅	小澤 梨子/山下温葉	3	静岡県立科学技術高等学校
入選 住宅	小泉 史昇	3	愛知県豊橋工科高等学校
入選 街区	君波 あこ	3	埼玉県立いずみ高等学校
入選 街区	服部 章也	3	三重県立四日市農芸高等学校
入選 商業	松浦光希/別府幹久	3	静岡県立科学技術高等学校
入選 商業	山 口 彩	3	滋賀県立八日市南高等学校
入選 実習	伊良部 誠士	2	沖縄県立中部農林高等学校
入選 実習	望月 魁涙	3	愛媛県立西条農業高等学校
入選 実習	鈴木 さくら	3	北海道岩見沢農業高等学校
入選 プラン	安永 夢乃	2	静岡県立静岡農業高等学校
入選 プラン	望月 歩美	2	静岡県立静岡農業高等学校
入選 住宅	川畑 さやか	1	E & G アカデミー
入選 住宅	石川 ゆりか	1	E & G アカデミー
入選 街区	谷 美紀	3	明治大学
入選 商業	石川 ゆりか	1	E & G アカデミー
入選 実習	小林 アオイ	2	西日本短期大学
入選 実習	竹内 唯人	2	西日本短期大学
佳作 住宅	伊藤 摩祐	3	三重県立四日市農芸高等学校
佳作 住宅	毛 利 夏実	3	奈良県立磯城高専
佳作 街区	君波 にこ	3	埼玉県立いずみ高等学校
佳作 街区	渡邊 生琉	3	三重県立四日市農芸高等学校
佳作 街区	寺井 ことみ	2	静岡県立科学技術高等学校
佳作 商業	松永 海咲	3	滋賀県立八日市南高等学校
佳作 商業	青山 拓直	3	滋賀県立八日市南高等学校
佳作 実習	菊池 淩	3	岩手県立花巻農業高等学校
佳作 実習	橋本 愛生	3	大阪府立園芸高等学校
佳作 実習	松本 歩	3	香川県立石田高等学校
佳作 実習	山口 璃陽	3	京都府立農芸高等学校
佳作 実習	舟山 瑞貴	3	三重県立四日市農芸高等学校
佳作 プラン	上原 淑莉	2	静岡県立静岡農業高等学校
佳作 プラン	苗 村 聖	2	滋賀県立八日市南高等学校
佳作 プラン	白井 結菜	2	滋賀県立湖南農業高等学校
佳作 プラン	中島 理奈	2	滋賀県立湖南農業高等学校
佳作 プラン	千葉 琳世	2	宮城県農業高等学校
佳作 住宅	岩井 佳世	1	E & G アカデミー
佳作 住宅	仙波 綾乃	1	E & G アカデミー
佳作 街区	山本 らな	4	明石工業高等専門学校
佳作 街区	吉田幹夫/黒川帆帆	1	大阪公立大学大学院
佳作 商業	根岸 香織	1	E & G アカデミー
佳作 実習	小松 大記	2	岐阜県立国際園芸アカデミー



第49回全国造園デザインコンクールは、「住宅庭園部門」に一般・大学44、高校113、「街区公園部門」に一般・大学19、高校54、「商業施設部門」に一般・大学13、高校15、「実習作品部門」に大学8、高校15、緑化フェア「みどりの広場」プラン部門に95(高校のみ)の合わせて、376点の応募があり、入選26点、佳作23点が選ばれた。

表彰式では冒頭、主催者より和田新也日造協会長があいさつ。受賞者の方々へのお祝いとともに、指導された先生方や関係者への御礼をはじめ、コンクールをきっかけに、造園を学ぶ機会となり、今後さらにご活躍していただきたいと、期待を述べた。

次いで、遠藤友治文部科学省初等中等教育局参事官(高等学校担当)付産業教育振興室教科調査官、国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育

受賞校との意見交換なども実施

全国造園デザインコンクールの表彰式は特別賞受賞者にお集まりいただき賞状や盾の授与、他の受賞者へは郵送し、



埼玉県立秩父農工科学高等学校

樹林

(一社)日本造園建設業協会理事

(株)山梅取締役会長 山田 忠雄



SDGsとグリーンインフラを造園業界発展の基盤に

昨年、コロナ禍で世界中が跪いてる中、ロシアがウクライナに侵攻し、日本を急激な原油高、円安が襲い、30年続いた物価も賃金も上がらない構造的なデフレ構造を壊しました。その昨年6月、構想から68年掛け完成した八ッ場ダムの造園関連工事が工期を迎え、無事終了しました。

そして、このタイミングで開催することを誘致していた日造協本部と関東・甲信総支部、群馬県支部との交流会が11月16日に群馬県長野原町にて開催され、本部から和田会長、田丸副会長、卯之原理事、関東・甲信総支部からは鈴木総支部長、加勢相談役に出席いただき、この流れで翌17日には八ッ場ダム視察会を開催し、国土交通省八ッ場ダム管理支所副所長、地元長野原町長からもごあいさついただき、関係者の方々にも納得のでき栄えだったことをアピールすることができました。

なお、「やんばさくら一万本桜プロジェクト」はお陰様で五千本を超える規模に到達する所まできました。これも偏に日頃より支えて下さいました皆様のご支援のおかげと心より感謝しております。しかし、目標には大きな差異がありますので、もう一段のご支援ご協力をお願いいたします。

一方で、「ぐんま緑の県民税」評価検証委員も務めております。水源涵養のために徴収した税金ですから林業関係に使うことになりますが、諸般の事情により予算がスムーズに回らないことがありました。そこで私は、ここ数年問題になっているクビアカツヤカミキリの防除対策に使えるよう進言し、採用されました。

地域の緑地、公園の社会資本を維持することは造園業者の役割です。国土交通省の守備範囲外でも、世間の期待要望を踏まえ行動しなければ生き残れないと考えています。

少子高齢化で人口が毎年50万人以上減少する事業環境厳しい日本ですが、過去の成功体験に囚われず、

SDGsとグリーンインフラを造園業界発展の基盤とし、後期高齢者の先頭に立って、造園業界を叱咤鼓舞し、これからも業界発展に寄与して参ります。

※ぐんま緑の県民税：群馬県内の平地林や荒廃した里山・竹林の整備といった公益性の高い森林整備を行う為に徴収する税金

が講評を述べ、その後、オンライン参加の受賞者による作品発表と審査員の講評、質疑などが行われ、最後に記念撮影を行い、閉会となった。

(2・3面に特集)

大防護の観点から、2年間は止む無く郵送となりました。今年は、受賞校への訪問を一部で実施し、賞状の授与のほか、意見交換や支部と学校の連携など、有意義な機会に繋がっています。



静岡県立静岡農業高等学校

特集

第49回全国造園デザインコンクール

審査講評 入選作品

■藤井 英二郎 委員長(千葉大学名誉教授)

第49回全国造園デザインコンクールの応募数は376点で、昨年の517点から大きく減りました。

一般・大学生の応募数は増えていますので、大きく減った背景には高校の造園教育を担う教員の異動と高校の数や生徒数の減少があるようです。高校の造園教育を継続的に維持する体制と生徒の学びを支える様々な連携が求められます。

高校生の応募ではとりわけ実習と緑化フェア「みどりの広場」プラン部門で優れた内容が多く見られました。実習は構想・設計・施工でのフィードバックの繰り返しを集団で行うことになりますので、様々な教育効果がもたらされていると思います。

一方、個人で取り組む住宅庭園や街区公園、商業施設の設計では実態を見直す機会になるでしょうし、知識や情報を総合・集約し具体化する能力が培われていると思います。

1、2年生が応募する緑化フェア「みどりの広場」プラン部門は開催都市の歴史・文化・自然の特徴を踏まえた楽しいアイデアが沢山見られました。一般・大学生の住宅庭園や街区公園、商業施設、実習はいずれも素晴らしい内容が多く、幅広い関心と分析の深まり、集約能力の高さが窺えました。

■遠藤 友治 委員(文部科学省初等中等教育局参事官(高等学校担当)付産業教育振興室教科調査官、国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官)

第49回全国造園デザインコンクール

にたくさんの応募をいただきありがとうございます。また、入賞された皆様、誠におめでとうございます。

どの学校の生徒の作品も日頃の学習の成果や熱意が感じられるものでしたが、今年度の文部科学大臣賞は、その中でも特に充実した作品が多数見られた静岡県立静岡農業高等学校が受賞されました。

高い評価を得られた作品はいずれもコンセプトが明確で、デザイン技術、表現力も素晴らしい、社会性や時代性に富んだものばかりがありました。御指導に当たられている各学校の先生方に對しまして、改めて敬意を表する次第です。

各学校におかれましては、今後も教育的視点で学習計画を立てていただきまして、基礎的・基本的な技術に加え、感性や表現力等を一層高めていただきますようお願い申し上げます。

次年度も素晴らしい作品に多数出会えることを心より御期待申し上げまして、講評とさせていただきます。

■湯澤 将憲 委員(国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長)

今年多くの作品が寄せられた中、見事入賞された皆様、おめでとうございます。

昨今、環境的には「生物多様性」「カーボンニュートラル」「グリーンインフラ」、社会生活では「ウェルビーイング」「テレワーク」「農」等々、造園空間のデザインを進める上で多数のキーワードが溢れています。それから、どれを選択し、限られた空間でどう表現していくか。制作者の悩み、提案が伝わってくる作品が高い評価を受けたと思います。

商業施設造園計画図

Rice terraces Garden

～雨水と生物の棚田ガーデン～

設計説明

四季折々の移ろいを見せる水田は日本の原風景であり、現在でも日本各地に生きています。その中でも「棚田」の地形は、日本の伝統ある美しい風景の一つである。そのデザイン性の高さと、雨水を貯留する機能、生物多様性の機能を活かした「水田を利用したグリーンインフラ」をコンセプトに、米場やが緑やされる「ウイルビーリング」なランドスケープ施設を設計した。



国土交通大臣賞

井上 泰一 南九州大学

国土交通大臣賞は、商業施設部門の大学・一般の部の井上泰一さん(南九州大学)の作品「Rice Terraces Garden～雨水と生物の棚田ガーデン～」が受賞しました。農的な空間の象徴としての棚田をモチーフに、雨水貯留、生物多様性などの機能を取込むとともに、日常利用にも配慮した空間配置等に工夫が見られました。コンセプトを明確に絞り込み、それをデザインに落とし込んだ完成度の高い作品として評価しました。

■入江 彰昭 委員((公社)日本造園学会理事)

自宅時間が増えた影響なのか、自己実現や趣味、自らの好みの物語をモチーフとしたテーマ性のあるアイデアが多くみられました。

大学生の作品は、今すぐにでも社会実装可能な作品が多くみられ、審査時間をお忘れほど夢中になって作品を読み込んでしまいました。

なかでも百年をつなぐ庭は、里山文化、世代、地域など様々なつながりのある暮らしを具現化したデザインが評価されました。

開園から数百年持続している庭園や公園がある中で、百年続く庭づくりは、これまでの環境共生の知恵や技、地域共生の暮らしをヒントに、デザインされたみんなの居場所づくりの庭は、地域住民の幸福やウェルビーイング、包摂的社会に貢献する共感を呼ぶ作品でした。

■坂水 元也 委員(全国高等学校造園教育研究協議会理事長)

調査～計画～設計～施工という造園の仕事の流れはあるものの、高校生の実習において一連を学ぶ機会は乏しい。

この作品は、その流れはもちろんのこと、ヒアリングや現地調査を行って歴史を知り、そのうえで有効活用のための提案を実現する計画をし、設計・施工につなげ、井戸周辺を改良するにあたって多くの挑戦をしてきたことが垣間見えるプレゼンテーションとなっています。

現場で漏れた声が吹き出しで表現されていて、その臨場感がアイデンティティとオリジナリティを醸した作品であり、全国農業高等学校長協会理事長賞に選出されました。

実習作品部門は、年々レベルが高まっており、「実習をしました」「作品ができました」だけでなく、施工前からの過程とコンセプトを図面いっぱいに表現していて見事です。

一方で住宅庭園や街区公園部門では、アイデアをデザインで表現するまでの精度が欠けているように感じます。

また、CAD作品においては図としてのブラッシュアップを高めることが必要だと思われます。

住宅庭園計画図

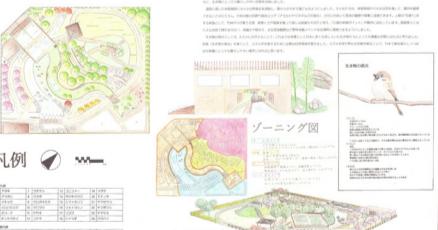
雨が生きる



小澤櫻子／山下温葉 静岡県立科学技術高等学校

街区公園計画図

自然に親しむ公園



服部 龍也 三重県立四日市農芸高等学校

実習作品

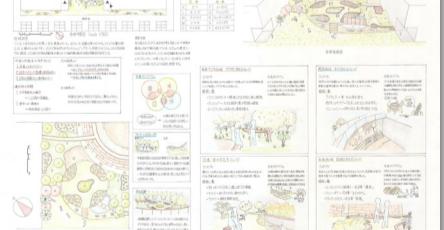
「竹のように成長する次の世代へ向けた竹垣庭園」



望月 慶津 愛媛県立西条農業高等学校

商業施設造園計画図

融解の大地



松浦光希／別府幹久 静岡県立科学技術高等学校

緑



鈴木 さくら 北海道岩見沢農業高等学校



久保 真人 山口県立宇部西高等学校



脇本 大 山口県立宇部西高等学校



小泉 史昇 愛知県豊橋工科高等学校



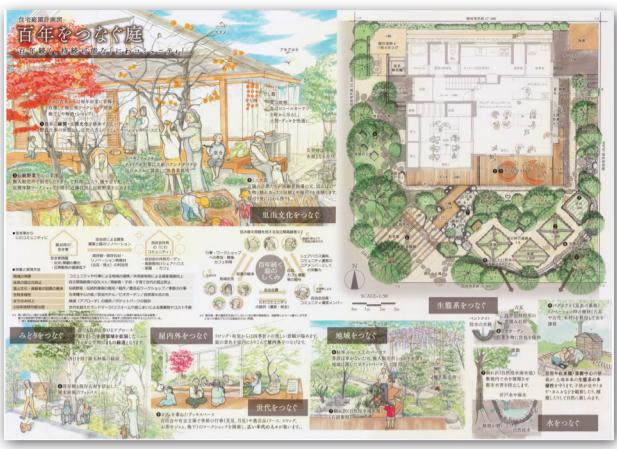
君波 あこ 埼玉県立いずみ高等学校



山口 彩 滋賀県立八日市南高等学校



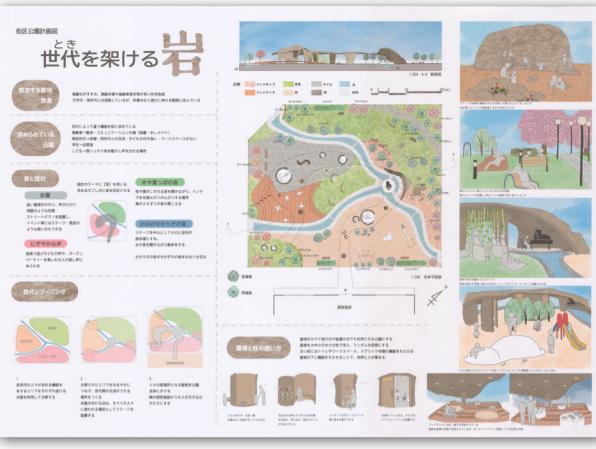
伊良部 誠士 沖縄県立中部農林高等学校



(公社) 日本造園学会会長賞
山下 純子 E & G アカデミー



(一社) 日本造園建設業協会会長賞
辻 志明 北海道岩見沢農業高等学校



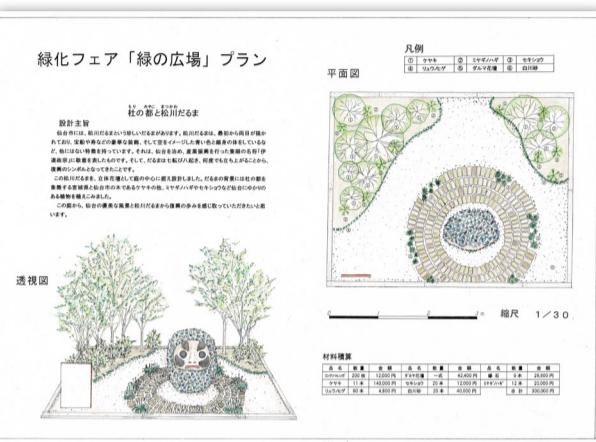
(一社) ランドスケープコンサルタンツ協会会長賞
井上 遥香／呉屋 勉音 大阪公立大学大学院



全国農業高等学校長協会理事長賞
神林 佑飛 埼玉県立秩父農工科学高等学校



全国高等学校造園教育研究協議会会長賞
宮崎 朔弥 静岡県立科学技術高等学校



緑化フェア「みどりの広場」プラン賞
木内 幸智 滋賀県立湖南農業高等学校

これからもよりよい想像の具現化を期待しています。

■栗原 正博 委員 (全国高等学校造園教育研究協議会副理事長)

高校生の作品の傾向として、大人には考えつかないような大胆な発想と、目を見張るようなアイデアがあります。それを前面に出した作品が、今回選出させていただいた「感情の箱庭」になります。

リフレッシュを目的に作られたこの公園の中には、デザイン性に優れた滝による癒し効果の他に、「個」を尊重した独立した休憩スペースが設けられ、建築デザインを学んでいる作者の独自性を感じました。

また、人間の五大感情を表現したという箱庭は、感情を抑え込んでいる現代人の心を掘り、新しい発想として高く評価しました。

今後も高校生の素晴らしい作品を期待しています。

■井野 貴文 委員 ((一社) ランドスケープコンサルタンツ協会技術委員)

応募作品は家や建物の中の機能（仕事、

勉強、食事、散髪等）を屋外空間に取り出し、外部との関わりを持った場を創り出している作品が多い印象でした。

ランドスケープコンサルタンツ協会会長賞を受賞された作品は、高齢者から子供まで多世代の人が音によって場を共有しつつ、各々の自由な利用（読書、仕事、勉強、遊び等）ができる提案でした。各世代を緩く繋げる装置として岩のようなシェルターを公園の中央部に配置し、屋外でしか生まれない音を生み出す装置を描いており、着想が素晴らしいです。

街区公園の将来のあり方を考える上で個性を持った公園づくりの可能性を示唆する作品でした。

■野野 良明 委員 ((公財) 都市緑化機構専務理事)

今年度も緑化フェア「みどりの広場」プラン部門に、95点もの応募を頂き御礼申し上げます。

2023年4月26日から全国都市緑化仙台フェアが仙台市青葉山公園追廻地区等で開催されますが、宮城県、仙台市の歴史文化や自然を踏まえた作品を全国から応募して頂いたことに感謝いたします。

プラン賞を受賞された木内幸智さんの作品「杜の都と松川だるま」は、地元では知られている色鮮やかな「松川だるま」を伝統と復興の象徴とし、ケヤキやミヤギノハギといった仙台ゆかりの植物を活用したユニークなプランとなっています。

その事前の調査能力とそれを活用したデザイン性に敬服いたします。大変話題性のある作品となり、フェア会場を大いに盛り上げてくれるものと期待しています。

■伊藤 幸男 委員 ((一社) 日本造園建設業協会技術委員長)

今年度の日本造園建設業協会会長賞は、高校生の実習作品部門の中から辻志明さんの作品を選びました。

建仁寺の「雲双龍図」を見た感動をもとに作庭したとのことで、その感性と発想に感心します。

春夏秋冬、それぞれの景観をイメージしてデザインを決め、材料を探したとのことです、みごとにテーマに合ったものになっています。

背景となる御簾垣の不揃いな姿が満月を表す大きな円にからんで、良い全体バ

ランスをつくりています。

今回の実習部門はレベルの高い作品が並びましたが、プレゼン資料の出来栄えも合わせて、この作品は審査員全員が推薦する評価の高いものでした。

■正本 大 委員 ((一社) 日本造園建設業協会事業委員長)

コロナの影響下も3年にわたり、緑地や公園への関わり方へも変化が始めています。

緑空間設計にもコロナ禍を反映した作品も見られました。家族や健康、環境対策を意識した作品も多く出展され、場づくりに託す思いの深さにも感心させられました。

イメージ先行ばかりでなく、書いたものがどのようにして実現・施工できるかも想像しながら描いてもらうと、もう一步階段を上ることが出来ます。

本コンクール出展を契機に普段より緑がどのように存在し、課題を抱えているかもしっかりと観察しながら、技量を高めていってください。

来年多くの作品応募をお願いします。



安永 夢乃 静岡県立静岡農業高等学校



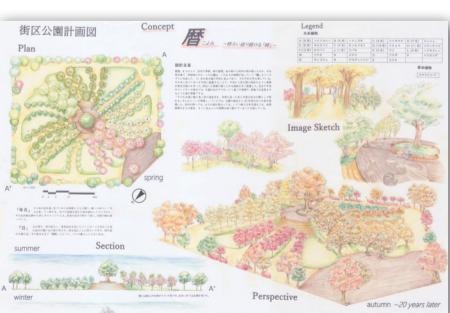
望月 歩美 静岡県立静岡農業高等学校



川畠 さやか E & G アカデミー



石川 ゆりか E & G アカデミー



谷 美紀 明治大学



石川 ゆりか E & G アカデミー



小林 アオイ 西日本短期大学



竹内 唯人 西日本短期大学

ふると自慢
宮城県日本フィギュアスケート仙台会場の周辺さんぽ
都市緑化フェア仙台会場の周辺さんぽ

「杜の都仙台」とメイン会場が一望できる仙台城跡

今年の4月26日から開催される全国都市緑化フェア仙台メイン会場周辺のさんぽコースをご紹介



地震被害により復旧中の伊達政宗公の騎馬像

します。

◆
メイン会場の青葉山には仙台城跡があり、杜の都と共に会場が一望でき、伊達政宗公の騎馬像が街を見守っており。お城はありませんが、護国神社・茶屋・お土産処もあり、仙台の歴史を学び楽しむことができます。

◆
昨年3月16日の大地震により、城壁と政宗公騎馬像が被害を受けました。東日本大震災以降、度重なる地震被害の復旧に向け取り組んでお



徒歩1分にある「五色沼」日本フィギュアスケート発祥の地（左）



国際センター駅（『羽生結弦』と『荒川静香』が演舞しています）（上）



明治元年創業「源吾茶屋」の絶品ずんだ餅とゴマ餅

ります。

◆
一番近くの駅は、地下鉄東西線「国際センター駅」。ここは、日本フィギュアスケート発祥の地「五色沼」があり、宮城県出身のオリンピックメダリスト『羽生結弦』『荒川静香』の記念モニュメントが飾られています。2月の暖かい日、五色沼を確認したところ周辺の沼は氷が解けていましたが、五色沼はスケートができる程に氷が残っていました…不思議ですね。

◆
メイン会場から徒歩1分なので、この機会に是非ご覧になってください。



広瀬川の清流を眺めながらカフェで癒されましょう！



飲むずんだシェイクと「ひとくちずんだ餅」

術館・東北大学川内萩ホールにもあり、緑化フェアを楽しみながら新緑の時期に様々な雰囲気のカフェで、優雅なひと時を過ごすのも良いですね。

◆
最後にオススメのお土産です、仙台ずんだを飲めるシェイクと常温で長持ちする『ひとくちずんだ餅』…。仙台駅で買えますので、忘れずにお楽しみください！

宮城県支部 山本尚子（有）ミドリ企画



◆
かつて日本酒が樽で出荷されていた時代、米は貴重品であり米からできる酒も当然貴重品でした。

◆
少しでも酒を多く売りたい酒蔵は酒屋に売る時に水で薄めて出荷し、酒屋も消費者に売る時に水で薄めていたそうですね。

◆
金魚が泳げるほどに水で薄められた酒という揶揄を込め、世間ではそれを「金魚酒」と呼ばれていました。

◆
「酒」といえば私は「ワイン！」と言うほどワインが好きで、焼酎…特に芋焼酎は苦手で、日本酒は飲んだ事もありませんでした。

◆
しかし今年の正月、大好きな先輩の娘さんから「日本酒」を頂いたので初挑戦いたしました。

◆
頂いた日本酒「錦鯉」とは、新潟の地酒で、錦鯉のように華やかで、清らかさの中に堂々とした味を感じられるお酒であると説明されています。

◆
私は、31歳と26歳の娘が居て、この2人もお酒が大好きで3人寄れば、わいわいと飲み明かしています。（笑）

◆
冷蔵庫にはチーズが欠かせなかったのですが、今は粕漬や漬物と発酵食品のオンパレードで、日々娘たちと「日本酒めぐり」の旅を計画しています。

◆
役員懇談会
28回（公財）建設業適正取引推進機構 第2回評議員会

◆
3月
2回（公財）女性活躍推進部会
3回（公財）四国総支部・支部との交流会
7回（公財）広報活動部会
8回（公財）建設産業人材確保・育成推進協議会 全国担当者会議
9回（公財）街路樹剪定士認定委員会（試験部会）
16回（公財）日本花普及センター第3回理事会
・都市緑化機構都市緑化技術編集会議
・街路樹剪定士認定委員会
17回（公財）財政・運営部会
・（公財）全国建設研修センター第29回評議員会
20回（公財）全国造園デザインコンクール等推進部会
23回（公財）運営会議
・グリーンインフラ官民連携プラットホーム技術部会幹事会
24回（公財）総支部長等会議
・第2回通常理事会

委員会等の活動

◆女性活躍推進部会 経営者チーム会議
2/2 経営者側の課題について審議。
●技術委員会

日造協
新入会員のご紹介

◆
社名/住所 代表者/FAX
（株）ウイードクリエイト 宮本 昌明
広島県広島市安佐北区可部大字桐原 1517
082-818-4270 FAX 082-881-2578

社名/住所	代表者/FAX
（株）中新造園 中村 恒見 埼玉県越谷市大間野町 1-70 048-986-5622 FAX 048-986-1010	
（有）宝亀園 小野寺 勉 埼玉県越谷市宮本町 5-39-1-411 048-940-0871 FAX 048-940-0755	

◆
2/2 今年度の事業報告と来年度の事業計画について審議、グリーンインフラ産業展の視察を行った。五十嵐審議官によるグリーンインフラに関する講演を聴講

- 広報活動部会
2/7 日造協ニュース2月号～5月号の内容について審議
- 登録造園基幹技能者講習委員会（試験委員会）
2/8 修了試験の採点および来年度の開催計画について審議
- 事業委員会
2/9 今年度の事業報告と来年度の事業計画について審議、今後の要望・提言活動について意見交換
- 全国造園デザインコンクール等推進部会
2/11 表彰式の改善と来年度50回記念の事業について審議
- 植栽基盤整備ハンドブック編集委員会・植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
2/14 植栽基盤整備ハンドブックの編集と来年度の試験問題作成について審議
- 登録造園基幹技能者講習委員会

◆
2/15 修了試験の合否判定および来年度の開催計画、テキストの改訂について審議

- 造園技術フォーラム部会
2/21 5月31日技術フォーラムの運営（役割分担等）を検討

●地域リーダーズ会議
2/24 令和5年度のリーダーズ勉強会予定と内容について審議

●事業委員会
2/28 今年度の事業報告と来年度の事業計画について審議、今後の街路樹剪定士指導員の養成計画と資格の活用展開について意見交換

◆
【訃報】東京農業大学名誉教授 近藤三雄氏におかれましては、令和5年1月20日ご逝去されました。

植栽基盤診断士認定委員会委員長として2003年から2020年まで、長年日造協の協会活動にご尽力いただきました。

ここに謹んでお知らせいたしますとともに、これまでの日造協へのご貢献に対し深く感謝いたします。

【造園用フルハーネスの購入方法】

造園の作業に適した「造園用フルハーネス」を会員特別価格でご購入希望の方はURL（<http://shop.kousinen.com/>）よりお申ください。



◆
編集後記 季語としても使われる「球春」は、四季のある日本独自の言葉であるという。まだ少し冷たい春風を感じながら、WBCが開幕を迎える。侍ジャパンの活躍に期待。